

大阪市・市立大学 新時代パートナーシップ協議会 (平成 19 年度第 1 回) 開催概要

大阪市と公立大学法人大阪市立大学は、相互の連携をより緊密化し、双方の経営課題の解決並びに新たな大阪づくりに協力して取り組むため設置した新時代パートナーシップ協議会の平成 19 年度第 1 回協議会を開催しました。

概要については、次のとおりです。

1 日 時 平成 19 年 9 月 27 日 (木) 9 : 30 ~ 10 : 30

2 場 所 大阪市役所 5 階 中応接室

3 出席者

(大 阪 市)	(市立大学)
關 市長	金児 理事長兼学長
井越 副市長	岸野 副理事長
柏木 副市長	中村 理事兼教育担当副学長
京極 経営企画監	角野 理事兼研究担当副学長
杉本 市政改革室長	土井 経営企画・広報担当理事
北村 計画調整局長	原 理事兼病院長

4 概 要

協議会として、当面、以下の取組みを、経営改革支援プロジェクトチーム及び創造的連携プロジェクトチームにおいて進めていくことを確認した。

(1) 大学の経営改革にかかる支援策の検討について

○学舎の整備

理系学舎については、理学部本館棟 (昭和 36・37 年竣工) をはじめ老朽・狭隘化が著しく、先端的な研究・教育環境の充実を図るためにも建替整備や耐震改修が必要な状況となっており、具体の整備方策・手法について検討を行う。

(2) 創造的な連携方策の検討について

○双方の人材・知的資産の有効活用

(人材の相互活用に向けた制度の構築)

市大教員の市行政への参画又は市職員の行政経験を大学教育への活用を一層推進するため、双方が必要とする分野での人材の相互活用・人

事交流の活性化に向けた制度の構築を図る。

(調査研究実績のデータベース化に向けた実証的検討)

これまで大阪市において実施してきた各行政分野における貴重な先駆的調査・研究実績をデータベース化して有効に活用するため、すでに先行して共同研究が進められている技術系分野をモデルとして実証的な検討を行う。

○大阪の活性化に貢献する協働した取組み

(創造都市の実現に向けた積極的な取組み)

大阪市が進める創造都市戦略の推進に向けて、市大の持つ知的資産や人的・組織的ネットワークの活用並びに、内外への情報発信及び市民・NPO・企業とのファシリテーション機能の発揮など、理論面・実践面において市大は積極的に参画し協働して取組む。

(相互の資産・ネットワークを生かした科学技術振興施策の推進)

大阪市の科学技術振興にかかる指針(仮称)の策定並びに推進にあたり、市大の持つ様々なポテンシャルを生かしながら、大阪市と市大が相互に活用可能な取組みを創出し、共同して積極的な展開を図る。

○双方の課題認識に基づく共同プロジェクト

(共通の利益に資する共同研究等の推進)

大阪市と市大は、各々が必要と考える研究課題について、両者の意向をマッチングする仕組みを構築し、共通の利益に資する共同研究等に積極的に取り組む。

その先行事例として、複数区を単位とした広域的取組みによる「新たな政策立案単位」にかかる制度面での課題や、新しい時代に即した区役所と行政区のあり方にかかる基礎的事項などについて、まず共同して調査・研究を行う。